

令和6年度 事業実施報告書

一般社団法人 北陸地域づくり協会

事業名 (個別メニュー)	阿賀川の歴史に学ぶ学習会	事業経緯	継続	実施体制	協力	担当所属	会津若松支所
事業名 (大項目)	地域の利用・整備・保全に関する広報事業	分類名 (中項目)	広報・啓発活動支援事業			事業区分	体験活動等

1. 事業目的

大正10年に阿賀川改修工事が県より国に移管され、内務省仙台土木出張所阿賀川改修事務所が発足して、令和3年で100周年を迎えた。その節目をきっかけに、地域住民に対し、先人の取り組みの歴史と直轄事業の役割や河川構造物に関わる歴史背景・文化・役割・遺産価値への理解を醸成するとともに、防災と水環境への意識の働きかけを行うことを目的に開催する。

2. 事業実施体制

主催: 特定非営利活動法人 会津阿賀川流域ネットワーク
 後援: 国土交通省阿賀川河川事務所、福島民友新聞社、福島民報社、電源開発(株)下郷事務所
 協力: 一般社団法人北陸地域づくり協会

3. 事業実施概要

■阿賀川の歴史に学ぶ利水史学習会バスツアー

日時: 令和6年10月23日(水) 9:00~16:30
 行程: 大川ダムー下郷発電所・展示館ー大内宿ー大内ダムー馬越浄水場
 参加者: 32名
 参加費: 入館料・昼食代実費
 ガイド: 石田 明夫(会津阿賀川流域ネットワーク理事長)ほか
 配布物: 大川ダム周辺歴史案内図(事後再編集)

4. 事業実施による効果(評価・貢献度等)

阿賀川直轄改修100周年記念事業(2021年)を契機に始まり、今回で4回目の開催となる。
 今回は「利水」に焦点を当てた行程で、参加者へのアンケートから、これまで2回以上参加のリピーターでも、何度も見学している大川ダムは有意義との回答があった。また、大川ダムと下郷発電所、大内ダムと馬越浄水場の関わりが良く理解できたとの回答が多かった。
 大川ダムや阿賀川の水が生活するのに欠かせない、水を大切にしたいとの回答があったことから、河川の大切さや河川環境への関心度が向上したことが伺えた。さらに、ダムのおかげで生活や農業が支えられていることがわかったとの参加者コメントが見学会の様子と合わせ新聞に掲載され、河川環境の大切さを広く啓発できた。



左から大川ダム(監査郎)、下郷発電所展示館、大内宿



左から大内ダム、馬越浄水場

大川ダム周辺歴史案内図
(左: 配布、右: 再編集)

バス車内でのガイド

